飲酒は20歳になってから。

BAEREN News

2026年11月号 vol.253

私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所 スタッフ一同

シードルの季節

嶌田 洋一 | 代表取締役社長

ベアレンは、ビール製造量において岩手県内No.1のメーカーですが（岩手県内に大手のビール工場はないので）、実はシードルにおいても岩手県内No.1の生産量を誇ります。今年もりんごの季節がやってきましたので、今回はベアレンのシードルの話をしたいと思います。

ベアレンでは、岩手県産果実を使った微発泡ワインを『Our Hour』というサブブランドで展開しており、その中心商品が「Our Hour ドライシードル」です。シードルというと甘くて飲みやすい、初心者向けの白ワイン的なポジションが一般的ではないでしょうか。そんな中、ベアレンでは、ドライな味わいで食中酒として楽しめる味わいを目指し開発、酸化防止剤など添加物を一切使わず、農家さんから直送された岩手県産りんごを自分たちで絞り、酵母以外は何も加えずにこのドライシードルを造ってきました。「ゆずシードル」もラインナップに加えて、過去にはシードルコンテストで多くの賞もいただいています。そして、昨年、盛岡りんごだけで造った「盛岡りんごドライシードル」を発売、地域の味わいを感じられるシードルとして好評をいただいています。

今年は夏の暑さもそれほどではなく、冬の雪害もなかったのでりんごの出来は良いようで、ベアレンにも続々とりんごが入荷されています。先にも書いた通り、ベアレンのシードルは、りんご以外の原料は使っていません。ボトル1本にりんご2個以上を使って造られています。今年の味わいをぜひご賞味ください。

「盛岡りんごドライシードル」

そして、今年より新発売した「BAEREN GEIST APPLE WHITE BRANDY」も、引き続き発売中です。ベアレン直営店へお越しの際は、アップルハイボールをぜひ試してみてください。ハイボールのイメージが変わると思いますよ。

BAEREN
ベアレンニュース 2026年11号 No.253
編集：総務部
ベアレン醸造所 〒020-0061 岩手県盛岡市北山1丁目3-31

リレーエッセイ

佐々木 陽 | 商品企画室

奈々さんよりバトンをいただきました、商品企画室の陽（みなみ）です！普段は商品の販促や輸出業務、頒布会企画などを担当しております。2回目のリレーエッセイということで、今回は私の大切な家族である愛猫について書きたいと思います。

我が家の末っ子「だるま」は、エキゾチックロングヘアーの男の子。今年で6歳になりました。ふわふわの毛並みと立派なあごひげがチャームポイントで、とっても甘えん坊。6年前に出会った頃は、よちよち歩く小さな子猫だったのが、今では体重も6キロ近くにまで成長し、抱っこをすると腕が疲れてプルプルしてくるほど。エキゾチックロングヘアーは一般的に鳴き声が小さいらしいのですが、うちの子はそうでもなく…いつも朝4時に「ワオーン」と犬のような鳴き声で叩き起こされるのですが、それすらも愛おしい♡甘えてきたと思ったら「触るな！」と猫パンチをされたり「こっちに来て！」と呼んだかと思ったら、満足すると知らん顔をしたり、猫らしく気まぐれでツンデレなところもありますが、それに振り回されている時間も至福です♡猫の6歳は人間でいうと40歳前後だとか。実家に帰って一緒に過ごせる時間はそんなに多くはないかもしれませんが、一緒にいられる時はたくさん甘やかして、少しでも元気で幸せに長生きしてほしいなと思います。

来月は雫石工場のニューフェイス、前田海聖くんにバトンをつなぎたいと思います！

今月の新製品

菅原 奈々 | 総務部

一緒に飲めば、ちょうどいい。岩手果実の微発泡ワインブランド「Our Hour」から、岩手県産りんごを使用したドライシードルのご紹介です！

地元農家さんから直送された新鮮なりんごを丁寧に搾り、1本につき2個分のりんごを使用しています。果実本来の芳醇な香りと甘さを抑えたドライな後味に仕上げ、お食事にも合わせやすい、すっきりとした味わいが特徴です。また、その年のりんごの出来や品種で味わいが異なるため、年ごとの違いをお楽しみいただけます。そして、今年も、初仕込み分を「ヌーヴォー」として発売します！ぜひ、岩手の果実でつくる特別な一杯をお楽しみください！

編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

朝晩の冷え込みが増し、布団から出るのに気合いが必要な季節になりました。目覚ましを止めては「あと5分」を繰り返し、気づけば出発時間ギリギリ……なんてことも。冬本番を迎える前に、まずは朝の自分との戦いに勝ちたいところです。

各アカウント一覧はこちら↓

今月の一枚

YouTube新シリーズ始動!その名も「社長嶌田のしゃ～ぷベアレン!」。直営店やイベント、新商品、裏側等、社長嶌田が自ら紹介します。初回は、菜園をご紹介。ぜひご覧ください!

岩手クラフトビールフェスin Morioka 2026

都鳥 勇介 | 総務部

10月3日（土）・4日（日）の2日間、もりおか歴史文化館前広場にて、「岩手クラフトビールフェス」を開催しました。今年で3回目を迎えた本イベントは、さらなる盛り上がりを目指し、今年から会場を移して規模を拡大。両日とも秋晴れに恵まれ、朝は少し冷え込んだものの、日中は多くの方でにぎわいました。会場には、県内各地から16のブルワリーが集まり、個性豊かなクラフトビールを提供。さらに、ビールと相性抜群のお料理やおつまみを提供するフード事業者も17店舗ご参加いただきました。お気に入りのビールとフードを片手に、仲間や家族との会話を楽しむ姿があちこちで見られ、2日間の来場者数は1万7千人に上りました。

また、4日（日）は「いわて盛岡シティマラソン」も開催されており、沿道でランナーに声援を送っていた方や、レースを終えたランナーも会場を訪れ、マラソンとあわせてイベントを楽しむ姿が見られました。スポーツイベントとの相乗効果により、普段とは異なる方々にも岩手のクラフトビールを知っていただく機会になったと思います。

そして、今回も昨年好評をいただいた「飲み比べセット」を販売しました。好きなブルワリーを自由に選び、さまざまなクラフトビールを飲み比べられるこのセット、気になる銘柄や普段は選ばないタイプのビールを試す方も多く、クラフトビールならではの多彩な味わいを堪能していただきました。その他、イベントオリジナルグッズとして手ぬぐいやリユースカップを販売。また、各ブルワリーのブースを巡ってスタンプを集めるスタンプラリーも実施しました。スタンプをきっかけに各ブースを訪れ、新たなブルワリーやビールに興味を持っていただく機会にもなりました。

県内各地のブルワリーが一堂に会し、クラフトビールと食を通じて多くの人が交流した2日間。ご来場いただいた皆さま、出店者の皆さま、開催を支えてくださった関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。今後も岩手のクラフトビールの魅力を発信し、その輪をさらに広げてまいります。

わたしとベアレン

熊木光包 さま

ベアレンビールへの思い『姫とリオ』

味の良さはもちろん、地元を大切にする姿勢に惹かれているベアレン醸造所。自分の名前に「熊」があることもあり、あのロゴマークにいつも親近感を覚えていました。

昨年、念願の盛岡駅前タップルームを訪れ、その後に足を運んだ動物公園ZOOMOでツキノワグマの「姫」と「リオ」に出会いました。元気な姿に癒やされ、売店で二頭の缶ビールを見つけてジャケ買い。これが野生のクマの保護活動に貢献していると知り、近年のクマ問題に胸を痛めていた私は深く感銘を受けました。

買い過ぎて帰りのバスは大変でしたが、心は温かかったです。人と野生動物が共存できる未来を願い、今夜もベアレンビールで乾杯します！

↑応募はこちら

レストラン便り

小山 英城 | 菜園マイクロブルワリー

みなさん、こんにちは。菜園の小山です。今回は、10月3日、4日にきたぎんボールパークで行われた盛岡シティマラソンの出店についてお伝えします。

私のきたぎんボールパークでの出店は、こけら落としの時以来2度目となります。現地に行くのもその時以来なので、とても懐かしく感じました。この2日間は天候にも恵まれ、沢山の人出でした。特に2日目はランナーの方だけでも8千人以上いたそうで、朝着いた時には道路もパーク内も車と人で溢れていました。

1日目は、ゼッケンを受け取りに来る方が多くベアレンブースに来て「明日走らなければならないので今日はノンアルにして、完走後に飲みに来ます！」と声を掛けてくれた方が沢山いました。2日目は、フルマラソン完走後の人達が多くなるとブース前は最後尾が見えないほどの大行列に…。私もフードを作りながらビールも注いでやっと行列の終わりが見えたと思ったらまた大行列、というのが数回繰り返され、2日目限定で提供したマラソンエールはあっという間に完売。14時過ぎにはフードが完売、ビールも足りなくなるんじゃないかと思うほどの勢いでした。15時過ぎにようやく落ち着き、スタッフ全員座り込んでしまうほどでした。

イベント出店はいつもと勝手が違い、大変な事もありますが、普段厨房内にいる私にとって直接お客さまと接することが出来るこういう機会を大切にして、今後のレストラン営業やイベント出店につなげていきたいと思います。

笑熊会活動報告

都鳥 勇介 | 総務部

9月27日（日）、毎年恒例の「秋の家族会」を外山森林公園で開催しました。社員とその家族、総勢60名近くが参加。大人から子どもまで、たくさんの笑顔が集まる一日となりました。

当日は、朝方は少し雨が降り、肌寒さも感じられる天気でしたが、会場に到着する頃には雨も上がり、青空が広がりました。まずは、公園内の特徴的な葉っぱや木々を探す「フィールドビンゴ」からスタート！ビンゴカードを手に、グループごとに公園内を散策しながら、さまざまな自然の発見を楽しみました。大人も子どもも一緒になって、「あれは何だろう？」「これじゃない？」と探し回り、普段とはひと味違った交流の時間となりました。

そして、散策の後はお待ちかねのBBQ！お肉を焼きながら、ビールを片手にみんなで乾杯。おいしい料理を囲めば自然と会話も弾み、仕事の話から家族の話まで、あちこちで楽しそうな声が聞こえてきます。子どもたちも元気いっぱいに過ごし、大人も負けじと飲んで、食べて、大いに盛り上がりました。

自然の中で思いっきりリフレッシュしながら、社員同士はもちろん、普段なかなか顔を合わせる機会のない家族同士の親睦も深めることができた今回の家族会。おいしいビールと食事、そしてたくさんの笑顔に包まれた、にぎやかで楽しい秋の一日となりました！